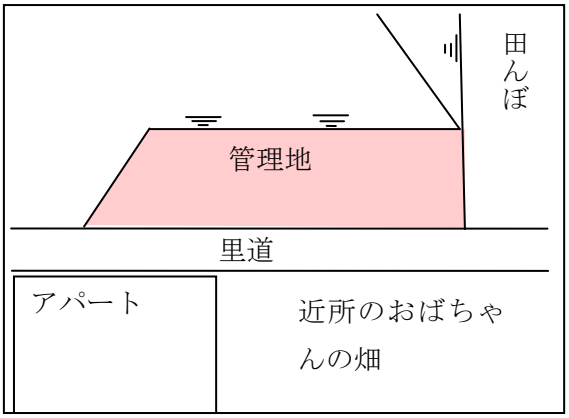
# 草刈りについて

本庁支部　福岡県道路公社　今泉　泰祐

## １．管理地の状況

まずは、管理地の状況です。面積は家庭菜園をするのにちょうどいいくらいの広さです。北側斜面は崖になっており、除草の必要はありません。東側と西側は平地のため管理も容易です。問題は南側です。里道を挟みアパートが建ちました。あまり草ボーボーにしていると、近所から苦情がきそうです。よって、里道も含めある程度は定期的な除草が必要と思われます。




（図１．平面図）

## ２．今年度の管理状況

5 月連休にたいしたことはないであろうと、鎌を持って行きました。まずは里道からと思い開始しましたが、全く進みません。人力除草の作業率の悪さと言ったらひどすぎです。1 時間位したところで、向かいの畑のおばちゃんが肩掛式草刈機を持ってやって来ました。おばちゃんが一言「家に草刈機なかった？」と。私が、「ありました」と答えると、おばちゃんが、「鎌じゃ終わらんよ。（笑）私もするよ」と言われたので、一緒に里道の除草をすることになりました。ここで、草刈機の威力のすさまじさを思い知らされました。歳は６０位のおばちゃんですが、15 分足らずで自分のテリトリーを終了。おばちゃんは、「じゃあがんばって」と自分の畑に戻って行きました。5 月とはいえ、気温は 30 度を超える暑さです。作業開始から 1 時間で 1 L のポカリもなくなり、2 時間経過したところで、気分が悪くなり作業終了。日を改めて出直すことにしました。

（写真１．作業範囲比較）

翌週、草刈機を手に作業を開始しましたが、その威力はすさまじく、１時間程度で里道と管理地の除草を完了。これでしばらくは安心だと思い、2 ヶ月間放置していました。

7 月下旬になり、久しぶりに草刈りをと思い現地に向かったところ、背丈８０ｃｍ位の立派な草に成長していました。前回除草後の面影も見当たりません。草刈機なんで楽勝やろうと思いきや背丈の長い草に大苦戦。かづら等のツタは絡むから大変とよく聞きますが、長い草でも十分からみ、草刈機のエンジンは停止してしまいます。これにより、作業効率は大幅にダウン。どうやら、夏場は毎月除草が必要のようです。

9 月に少しでも、手間を減らそうと、知人から玄関マットのお古をもらいました。防草シートの代わりにちょうどよさそうです。草刈機では除草が困難な木の周りや岩の周辺に敷設してみましが、10 月 11 月と玄関マットの効果は抜群でした。

12 月になりました。せっかく敷いた玄関マットの上に、落葉が堆積していました。落葉が堆肥化すると、草が生えるので玄関マットの敷設の意味がなくなります。さっそく落葉を拾いましたが、1 月には右の写真２のようになっていました。どうやら、冬場も定期的な管理が必要なようです。

（写真２．マット敷設状況）

## ３．今後の管理目標

4 月～1１月位までは毎月 1 回の除草が望ましいと思われます。

12 月以降は落葉の清掃が必要と思われます。

何か野菜ができたらいいですね。

## ４．感想

・向かいのおばちゃんの畑でできた新鮮な野菜を頂けます。

・草刈りの大変さが分かりました。

・家庭の時間と管理時間のバランスが大変です。